

保育理念	大事な時期だからこそしっかり育てたい	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・“幼児期の終わりまでに育って欲しい姿”の積極的な活用 ・組織の強化のための人材育成、管理職強化 ・卒園児・卒園児家庭を含めた地域支援及び貢献活動の継続
------	--------------------	----------	--

	項目	内容	目標・計画	今年度の状況と課題	来年度の目標
1	事業	就学前の子どもに関する教育・保育	生き抜く力の基礎を持つ	コロナ禍で縮小した保育・教育となったが、職員で話し合いを続け最善の方法で保育・教育が実施できた。衛生関係の指導は今後も続けていく	コロナ対策をしながら、新たな取り組みをし、安全管理もしっかり行いながら出来る事は行っていく
		子育て支援及び地域子育て支援事業	充実した子育て環境の構築		
		病児保育事業	保護者の子育てと就労の両立支援		
		特別支援児の教育・保育	特別支援教育サポート事業の実施		
		小学校との連携及び就学児支援	円滑な接続に向けた工夫		
		地域貢献活動	地域行事へ参加し園への理解を深める		
2	事業を支える分野別取組み	運営：運営規程、健康管理、虐待防止他	保幼小連携について園児のみならず保護者を巻き込んだ活動の推進	小学校との連携は実施が不可となったため現状で出来る事を模索。状況下で叶う実施を検討。	小学校との接続を丁寧に進める 地域を支える様々な職業に関わる人々や多様な年齢層を視野に入れつながりを大切にしていく
		教育・保育：環境設定、食事提供他	支援児の保育環境を豊かにするための		
		支援：保護者支援、特別・地域支援他	の専門機関からの指導		
		連携：保幼小連携、地域や専門機関等			
3	職員自己点検	教育・保育	職員の専門性を高めるために、外部	コロナ禍で外部の研修が無くなり、内部での話し合いの機会が多く持たれた。 子育て支援など、出来る範囲で行えた。	コロナ対策をしながらも合計点が低かった事柄について見直しをし、話し合い改善をしっかりと行っていく
		子どもとの関わり	への研修も含め多くの研修に参加する		
		子育て支援	日常的に職員同士が保育教諭の質の		
		職員連携	向上を目指して話し合う		
		自身について			

総評	今年度の状況と課題	来年度の目標	来年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響を踏まえた上での、保育理念の達成 ・全職員及び事業関係者の安全の確保と、業務遂行のための援助 ・卒園児・卒園児家庭を含めた地域支援及び、貢献活動の継続
	新型コロナウイルス感染症対策を手探りしながら速やかに安全管理の徹底を図る	コロナ禍の中、人々の不安を受けとめながら安全への最善を尽くす		